

科目名 Course Name	経営学 I Business Administration I						
年次	1 年	期別	前期	単位数	2 単位	授業形態	講義
担当者氏名	長江 庸泰						
連絡先(質問等)	メールにて対応、オフィスアワー:本館2F(研究室 1)月～木曜 9:00～16:00(授業・会議時間を除く)						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2,DP3,DP5						
授業の概要と到達目標	マネジメント工学の立場から企業の種類や経済社会における企業の役割、現代社会の代表的企業である株式会社の企業形態的な特徴とその組織管理、コーポレートガバナンスなど、株式会社の役割や特徴に関する知識を習得する。 ①企業形態の特徴、株式会社の特徴・組織を説明できるようにする。 ②現代企業におけるコーポレートガバナンスの意義とその実現方法を説明できるようにする。 ③マネジメント工学の体系と内容を説明できるようにする。 ④4つの経営資源の分野の基本的内容を説明できるようにする。 ⑤経営科学と経営情報システムの基礎を説明できるようにする。						
授業の方法	本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等を活用しながら、経営学に精通した人材育成を目指すものである。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	①企業形態の特徴、株式会社の特徴・組織を説明できる。 ②現代企業におけるコーポレートガバナンスの意義とその実現方法を説明できる。 ③マネジメント工学の体系と内容を説明できる。 ④4つの経営資源の分野の基本的内容を説明できる。 ⑤経営科学と経営情報システムの基礎を説明できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テスト・期末試験等の解答を示し、結果は、メール等で個別にフィードバックする。						
教科書/参考図書	長江庸泰作成の“デジタルテキスト[経営学 I 2020 年度版]”を活用する。						
履修上の留意点やルール等	事前・事後学習各回 180 分、本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する自主創造の教えを基に、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けること。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:会社役員 職歴:40 年)、実務経験を経営活動の実践面と学習・説明等で活用する。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の 3 点から評価する:①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S 評価の基準: 上記参加態度を全て満たすもの。			10	
レポート/作品	S のレポートの評価:①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月 1 回計 3 回提出予定(締切は各月末)。			30	
発表	S のレポート発表評価:①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。			20	

佐野日本大学短期大学 2020 年度シラバス

小テスト	成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59			20	
試験	成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59			20	
その他	上記評価基準に基づき成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59				
合計				100	

回数		授業計画
1	授業内容	授業ガイダンス:本授業の進め方と学び方/レポート課題説明と出題の解説、シラバスを読んでおき、各授業に関する質問事項等を考えておくこと。
	事前・事後学習	事前学習(上記質問事項等を準備しておくこと)・事後学習(ノートを整理しながら、自分で調べ・学ぶ姿勢を身につけること)。
2	授業内容	組織学習組織学習の基本概念、メカニズム、学修の準備:メカニズムについてまとめる。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
3	授業内容	社会を分析する統計学統計学が説明できる社会的事象、学修の準備:統計の基礎知識の整理。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
4	授業内容	実証研究と具体的研究例の紹介、学修の準備:実証研究の意味付け(グループワークによるプレゼンとディスカッション①)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
5	授業内容	生産管理と品質管理生産管理の役割、品質の概念、学修の準備:品質について調べておく。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
6	授業内容	デザインエンジニアリングと経営統計設計工学とは、経営統計の必要性、学修の準備:経営統計について調べておく。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
7	授業内容	人間工学と信頼性工学人間工学とは、信頼性とは、学修の準備:人間工学について調べておく。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
8	授業内容	学習目標達成度の確認(1)Problem-Solving-Learning(グループワークによるプレゼンとディスカッション)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
9	授業内容	マネジメント工学の概説 (1)マネジメントの定義、(2)マネジメント思想の変遷(3)企業とは、(4)企業をめぐる諸問題、学修の準備:マネジメントについて整理する。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
10	授業内容	経営戦略と組織 (1)経営戦略とは、(2)組織原則と階層、(3)新たな組織のあり方学修の準備:経営戦略と組織について整理する。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
11	授業内容	人的資源のマネジメント (1)HRMとは、(2)HRMの歴史、(3)HRMの諸領域、(4)キャリア開発、(5)エンプロイアビリティ、学修の準備:人的資源について調べる。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
12	授業内容	会計と財務のマネジメント:(1)財務会計と管理会計、(2)B/SとP/L、(3)利益と決算、(4)キャッシュフロー、学修の準備:会計とは何かをまとめる。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
13	授業内容	生産と品質のマネジメント (1)生産と生産管理、(2)品質と品質管理、(3)品質保証、(4)ジャストインタイム、学修の準備:生産とは何かまとめる。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
14	授業内容	販売と流通のマネジメント (1)販売のマネジメント、(2)マーケティング、(3)流通とその役割、(4)ロジスティクスとサプライチェーン、学修の準備:流通マネジメントについてまとめる。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
15	授業内容	学習目標達成度の確認(2)Problem-Solving-Learning(グループワークによるプレゼンとディスカッション)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。

